



聖稜だより

令和7年3月17日発行

五十嵐医師が座長を務めました！

当院医師五十嵐有紀子が令和7年1月11日に藤枝市文化センターで行われた市中痙縮者に対するボツリヌス装具併用運動療法研究会（以下、CORABOSS）主催の講演会「脳卒中患者を地域でどう支えるか？～痙縮治療の実際～」にて座長を務めました。

CORABOSSは脳卒中患者の歩行機能改善のためのボツリヌス療法、装具療法についての情報交換の場、これら治療の進歩が脳卒中患者に等しく紹介されるために、診断・治療手技を含めた情報提供の機会を地域にあまねく用意されるために設立・運営されています。



講師の西宮協立リハビリテーション病院の勝谷将史医師はリハビリテーション専門医として、痙縮治療の最前線でご活躍されている医師になります。講演会では実際行われている痙縮治療の紹介等があり、講演会以外にも装具連携のシンポジウムが行われ、活発な意見交換も行われました。ボトックス外来、装具外来を行っている当院として、地域における責務を感じる研究会となりました。



義肢装具外来のご案内

当院では、火曜日と金曜日の午後に義肢装具外来を行っています。

《義肢装具外来の内容》

- ・義肢装具の破損部位の修理（ベルクロの交換など）
- ・サイズが合わなくなってしまった義肢装具の再作製
- ・作製にあたり利用可能な制度のご紹介



装具係チーム

義肢装具についてお困りなことがあれば、どんなことでも気軽にご相談下さい。受診は予約制となっておりますので、お電話にてお問い合わせ下さい。

聖稜リハビリテーション病院

☎ 054-639-0112 (代表)

☎ 054-639-0195 (リハ直通)

リハビリテーション部 装具係宛

mediVRカグラ認定セラピストが2名体制になりました。

当院では、入院・外来リハビリテーションにおいてmediVRカグラを活用しています。この度、作業療法士の中島が大阪府豊中市にある株式会社mediVRで研修を受け、VR（仮想現実）を活用したリハビリテーションを行う当院2人目の認定セラピストになりました。認定セラピストの中島は、「mediVRカグラを用いたトレーニングにより、担当患者さんの手の震えや歩行が改善した」と実感しております。



mediVRカグラは仮想空間上の狙った位置に腕を左右交互に伸ばす動作を繰り返すことで、姿勢バランスや二重課題型の認知処理機能を鍛えるリハビリテーションをサポートするための医療機器です。脳卒中やパーキンソン病、高次脳機能障害、骨折などの整形疾患等様々な疾患に適応されます。

今後も当院では積極的に「mediVRカグラ」を活用したリハビリテーションを行います！

第1回目の就職相談・見学会を開催

2月8日（土）当法人初めての就職相談・見学会を行いました。大変寒い中、21名の方にご来場いただきました。



来場者がいなかったらどうしようと心配しておりましたが、思いのほか、多くの方にお見えいただき、スタッフ一同安堵しました。半面、ご来場者の方には足りない点が多々あったかと思えます。

人員不足の職種について引き続き求人しております。相談や見学をご希望される方はお気軽にお問合せください。

～ お問合せ先 ～

054-639-0198

soumu@seiryokai.or.jp
担当：総務部 平澤



病院（入院）または介護保険事業

- ・看護師
- ・介護福祉士
- ・ヘルパー
- ・看護助手
- ・運転手
- ・作業療法士

